※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真１）（表１）などと文中に記載し、右ページに（写真１）（表１）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 131

【様式２】

エントリー学校名：大分県別府市立亀川小学校

活動名：夢を持ち自ら学ぶ子へ コロナ禍の休校で必要な資質は？

解決すべき課題：「コロナ禍における休校中の保護者オンラインアンケートで現れた課題」（資料１）

〇休校中自ら学べない（従来の課題：子どもが夢・希望を持てない）→次の休校に備え必要な資質は？

目標・方針：上記課題をチームで共有しアプローチすれば「夢を持ち自ら学び続ける子」が育つであろう。

〇コロナ禍における保護者オンラインアンケートで浮彫になった課題を**教育目標**に位置付ける。（資料１）

〇課題や学校の**教育目標**を学校、保護者、地域で共有し子どもへアプローチする。

活動内容：課題を教育目標に位置付け学校・保護者・地域で共有しゴール（夢・自ら）を目指す取組

〇共有の工夫　教育目標「**夢を**持ち学び続ける子」（３年前）→「夢を持ち**自ら**学び続ける子」（１年前）

（学校）・教職員へ週２回の職員室通信（写真３）と１ヶ月毎の教職員意識調査をリンクさせ意識改革。
・自ら学ぶ「自学ノート」を推進　・範となる子どもの「自学ノート」（写真２）を掲示する取組。

（保護者）・配信メールと学校ＨＰをリンクさせ「自学のすすめ」シリーズ（図１）で課題とゴールの共有。

（地域）・コミュニティースクールと地域自治会をリンクさせ課題と教育目標を載せた啓発チラシ（写真１）を地域全戸に配布し各家庭の見えるところに掲示、「見える化」をはかり課題とゴールを共有。・自治会長が子どもを褒める場を設定。地域の方から子どもへの励ましの言葉を公募しホームページに掲載。

〇地域人材の積極的活用で課題解決を目指す。困難な状況でも夢・目標を持ちあきらめずに頑張っている。

・子どもの発案で課題解決を目指す。（地域人材夢を語る「創業者」の活用　資料２）

・ラオスパラリンピック選手とリモート交流、日本人パラリンピック選手とリモート交流（夢につながる話　資料３）

・コロナ禍のピンチをチャンスに、無言給食時の手話活用で地域人材活用（無言給食で手話を　資料４）

考え方の転換を図り、ピンチをチャンスに・・目標達成のためのねばり強さを育成（資料４朝日新聞全国版）

活動の成果：〇・・「自ら」の取組　この１年の成果　　◎・・「夢」の取組　この３年間の成果

〇◎令和２年度大分県学力調査質問紙の回答における亀川小と全国との比較（表２）

「夢」・全国値　５９．３％　、亀川小学校　７８．１％・・設問「夢や目標がありますか」で「ある」と答える

「自ら」・全国値　７０．７％、亀川小学校　８４．４％・・設問「自分から勉強しますか」の肯定率

〇職員室通信は 30 号まで発信（９月末時点）「自学のすすめ」シリーズは 18 号まで発信。自学ノートの内容に変化があった。自ら学び考え、保護者の支援を受け実践する子が出てきた。

・コロナ禍のマスクについて調べた子（資料５）保護者の支援を受け自学を実践で表した子（資料６）

◎学力が大幅に向上。学力調査（全国を基準）ですべての学年・教科で全国平均を 6.9 ポイント上回まわった。経年比較で全国学テは過去三年で全国平均との差が－7.7→＋2.3→＋3.8 県学力状況調査の全国平均との差は、＋0.6→＋3.5→＋7.9 と年々向上している。付帯効果として、不登校が居なくなった。

アピールポイント（アイディアや工夫）：夢や希望、目標を持てる子が増えたこと。そして、自ら学ぶ子が増えた。その結果、全国調査の学力が大幅に向上したこと。

（１）コロナ禍で浮き彫りになった喫緊の課題を学校教育目標に位置付けた。

（２）教職員・保護者・地域の目標の共有の工夫をし、それをそれぞれの教育目標達成と結びつけたこと。

（３）地域人材の活用を学校の教育目標達成のために絞り込んだこと（カリキュラムマネジメント）

資料１　本校の喫緊の課題　休校中の保護者アンケートから見た課題と令和２年度の学校の教育目標（令和２年度３月）

課題１　自ら学ぶ姿勢の欠如（主体性がない）

（休校中の保護者オンラインアンケートの記述より）

・なかなか学校のように時間割りを立てて自分から勉強する事ができない。・自分から進んで勉強をしない。など

課題を学校の教育目標へ

学校の教育目標　キーワード　「夢」・「自ら」

夢を持ち、**自ら**学び続ける子の育成

めざす子ども・・・・夢・目標を持つ子、自ら学ぶ子

保護者　学校　地域

図１休校時のＨＰの「自学のすすめ」シリーズ

表１　学校の教育目標・重点を共有する教職員意識調査

1、亀川小学校の教育目標・重点目標を理解していますか（覚えていますか）	5月	6月	7月	9月
1理解していない	0%	0%	0%	0%
2あまり理解していない	13%	0%	0%	0%
3だいたい理解している	50%	39%	39%	28%
4よく理解している	**37%**	**61%**	**61%**	**72%**
2、亀川小学校の学校の教育目標・めざす児童像を意識して教育活動を行っていますか				
1意識していない	0%	0%	0%	0%
2あまり意識していない	12%	0%	0%	0%
3やや意識している	34%	30%	33%	22%
4よく意識している	**55%**	**70%**	**67%**	**78%**

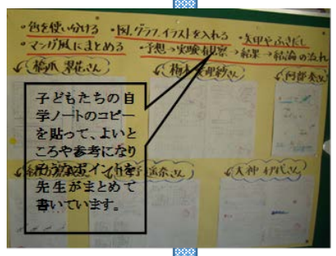
写真１教育目標の地域との共有をめざした啓発チラシ

（亀川地区６０００世帯全戸配布）

資料２大分合同新聞記事「夢を語れ」講演会

資料５　コロナについて調べた自学ノート

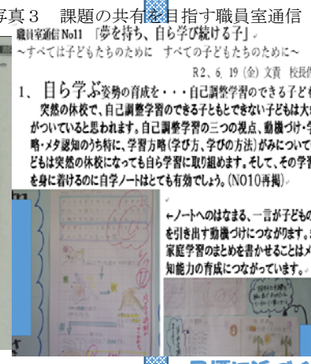
写真２　自学ノートを推進する掲示物



資料３　ＮＨＫＴＶ放映（代表選手とリモート交流）

資料６　大分合同新聞記事（全校のマスクを作成）

写真３　課題の共有を目指す職員室通信



資料４朝日新聞記事（手話活用で地域人材活用）

表２成果令和２年度大分県学力定着状況調査の質問紙における全国との比較

表２①　「あなたには夢や目標がありますか」設問

選択肢	はっきりした目標がある	いちおうある	思いつかない	まったくない	肯定率
全国	59.3	28	8.5	3.5	87.3
県	56.3	29.8	9.8	4	86.1
亀川小	78.1	15.6	4.7	1.6	93.7

表２②　「あなたは自分から勉強しますか」設問

選択肢	いつもしている	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない	肯定率
全国	36.6	34.1	21.5	7.4	70.7
県	35.4	42.2	16.5	5.7	77.6
亀川小	37.5	46.9	9.4	6.3	84.4